新企画盛りだくさん特別号！

NPO☆Kyoken 通信

※インフォメーション通信が変わりました！

☆特定非営利活動法人 教育研究所(不登校問題研究会事務局) **７２号** 平成 １７年８月１２日発行

〒233-0013 横浜市港南区丸山台 2-26-20 TEL045-848-3761/fax045-848-3742
URL: http://kyoken.org/ E-mail： contact@kyoken.org

8 月になり、うだるような夏の暑い日が続いています。いかがおすごしでしょうか。
夏は教研にとって、不登校問題研修会という、文部科学省の後援を得て全国規模で行っている研修会の季節です。研修会の運営には、会員の方をはじめ多くの方にボランティアとしてご支援を頂いています。
この研修会は、学校の先生方をはじめ多くの方々に、不登校を深く理解してもらうことを目的として毎年夏に開催し、今年で 15 回になります。8 月 22 日から行われる東京会場でも、ボランティアをしてくださる方を募集中です。ご協力いただける方、教研までご一報下さい。

特定非営利活動法人 教育研究所
第二回　定例総会のご報告

平成１７年７月１６日（土)、15 時４５分よりゆめおおおかオフィスタワー内ウィリング横浜 125 号室において第二回総会が行われました。

会員総数：　１０８名
参加者：　２６名　委任状提出者：３５名
欠席者：　４７名

上記のように参加者および委任状提出者が会員総数の過半数を超え､総会は成立いたしました。

議長には武内様、議事録証明人には主森様、猪口様にそれぞれご協力いただくことになりました。

総会においては
第一号議案：　平成 16 年度活動報告の件
第二号議案：　平成 16 年度収支報告の件
第三号議案：　平成 17 年度役員承認の件
第四号議案：　平成 17 年度事業計画書承認の件
第五号議案：　平成 17 年度収支予算書承認の件

※上記議案の詳しい内容については会員の方には議案書を事前に配布しておりますのでここでは省略いたします。

以上の五議案について審議された結果、すべて満場一致で承認されました。
議長をお引き受けいただきました武内様はじめ多くの方にご協力いただき無事終えることができました。心よりお礼申し上げます。

今年は､これまでの教研の活動を更に広げた､様々な形の活動を展開していきます｡今後とも私どもの活動をご理解いただき変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

若者自立塾 始まります！

新聞などのマスコミ報道でご存知の方もいらっしゃるかもしれません。仕事や通学をせず、職業訓練なども受けていない若者「ニート」の社会参加を支援する、合宿形式での集団生活を通じて生活訓練や労働体験を行う、厚生労働省の委託実施事業､「若者自立塾」の運営が始まります。

全国から 20 団体がその運営団体として、選ばれ、教研もその中の一団体として今年の 10 月から運営を始めます。

厚労省の行った調査の中では、ニートの約 6 割の人たちが不登校をなんらかの形で体験したことが分かっています。

“不登校からひきこもりへ、ひきこもりからニートへ“こうした経過をたどったニートがどのくらい存在しているのか、そうした調査は現在行われていません。不登校児童生徒が増加し、長期化傾向にある現在、その数が増えているだろうことも否定できません。

そんな中“社会的自立のための就労支援活動”はNPO設立当初から定款にも明記されてきた教研の事業として目指すものでした。そして、ここに富山県宇奈月町の方々の心温まる支援の中、若者自立塾という形で具体的支援プログラムが始められる事になりました。

10月から、富山県宇奈月町の保養所で行う3ヶ月の合宿の中で、人間関係トレーニングをしながら、地元のホテルや、旅館、水産関係者らの協力を得て、清掃など地域での奉仕活動から接客サービス、農林水産業、伝統工芸などの様々な就労体験を実施します。

自立塾の定員は20名。現在申し込み受付中です。定員になり次第申し込みは締め切りになります。

詳しいお問い合わせ、申し込みは直接教研まで。

若者自立塾そのものについては　**財団法人社会経済生産性本部 若者自立塾支援センター http://www.jiritsu-juku.jp　まで**

＜若者自立塾説明会・個人相談会を行います＞

○9月3日(水)　桜木町の神奈川県立青少年センターで行われるフリーマーケット（フリ・フリ・フリマ）にて、自立塾の説明会を開催いたします。フリーマーケットは午前11時から午後4時まで開催予定です。参加は無料です。

○9月17日(土)　：ウィリング横浜１２階研修室１２４（横浜市港南区上大岡西1-6-1ゆめおおおかオフィスタワー内）において、午後1時半より、「ニート・ひきこもりからの自立」、講師：牟田武生の内容で、講演会を行い、その後3時30分より無料相談会を行います。

会員向け

＜若者自立塾説明会を行います＞

まず始めに、教研の会員さん向けに若者自立塾の塾生募集のための説明会を行います。

定員10名で行います。お申し込みはお早めにお願い致します。気軽にご参加下さい。

日　時：　8月27日(土)午後3時半～5時半
場　所：　教育研究所
参加費：　無料

※連絡は教研まで

（厚生労働省委託実施事業）9月開講

～ひきこもりからの自立～

ひきこもりが長期化して、学齢年限を過ぎ、ニートになった若者と家族を支援するためのグループカウンセリングです。ひきこもりの心理の理解、家族関係の変化、若者自立塾への道、若者自立塾での取り組みなど、ひきこもりニートからの自立への道筋を考えます。

講 師　NPO法人教育研究所
教育コンサルタント　牟田 武生

（開放型・部分参加あり、毎回その都度参加者募集）

日　程：2005年9月～3月（全7回）
第1回：　9月10日　第2回：10月15日
第3回：11月　5日　第4回：12月10日
第5回：　1月21日　第6回：　2月18日
第7回：　3月11日

時間：各回とも土曜 pm4:00～pm6:00(120分)

参加費：無料　※厚生労働省委託事業、若者自立塾のﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟ事業の一環として開催

※　NPO 法人教研への入会が必要になります。

場　所：NPO法人教育研究所　定員10名

（定員になり次第締め切り）

申し込み方法／お電話で確認の上、申込書に必要事項をご記入いただき、ファクスまたは郵送にて教育研究所までお申込下さい。

7月から倶進会の助成で無料開催！！

☆講演会をご利用下さい☆

教研では年間を通じて不登校・ひきこもりの子どもを支援する保護者の方へ向け、講演会を開催しています。

『ニート・ひきこもりからの自立』

日程：平成17年9月17（土）
ゆめおおおかｵﾌｨｽﾀﾜｰ内ｳｨﾘﾝｸﾞ横浜 12F 124
講師：牟田武生　教育コンサルタント
NPO 法人教育研究所　理事長

不登校13万人弱、高校中退10万人、ニート85万人、社会的ひきこもり100万人の時代です。ニートの人のうち、約6割の人が何らかの不登校体験者とも言われています。これらの問題で

共通するのは、「学校に行きたくても行けない」「仕事をしたくても出来ない」学校や社会を前にして、すくみや不安を感じてしまう自信の持てない若者達。

人間関係に苦しみ、身動き取れなくなった時、「様子を見ましょう」「心のエネルギーが溜まるまで待ちましょう」の言葉がひきこもりに拍車をかけた。

厚生労働省委託「富山・宇奈月温泉・若者自立塾」、人間関係の土台からやり直そう。君なら出来る。みんなで明日の自分づくりをしよう。僕達はみんなのサポーターだ！

＜講演会の会場＆スケジュール(各回共通＞

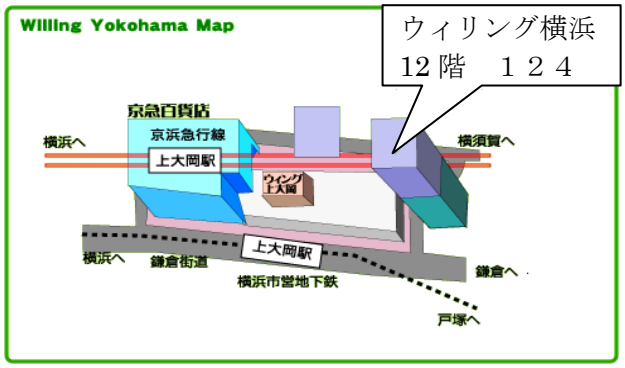
受け付け開始：13 時
講　演：13 時 30 分～14 時 20 分
ケースグループ相談：14 時 30 分～15 時 30 分
終　了：15 時 30 分
参加費　：無料　（倶進会の助成金で開催）
定員 60 名先着

初めて参加される方でも分かるような形でお話を進めていきます。

☆講演会後、オープングループやってます☆

また、第二部として 14時30 分からグループカウンセリングも行っています。講演の中で疑問に思ったことや、もっと聞いてみたいこと、子どもの対応についての悩み事、お母さんの憂さ晴らし、なんでも結構ですのでご自由にご参加下さい。参加は無料です。（神奈川県の補助金を受け、開催します。）

※10月講演会は１０月２２日(土)です。



Boys & Girls! Be ambitious!

（少年、少女よ！大志を抱け！）応援します、それぞれの生き方！

前号でもお伝えした、教研で始まった新たな体験・経験の場、アンビシャスプラン。これら新しい活動の意義、背景などと、7 月 4 日(月)～7 月 8 日(金)に行われた韓国体験合宿の様子をお伝えします。

韓国キャンプを終えて

西村公志

不登校とひきこもり･NEET の関係

“不登校の問題はひきこもり・NEET 問題に直結している。”と言っては乱暴でしょうか。しかしそうでないとは言い切れない現状が見え隠れしています。

私たちの調査（SSP「不安などの情緒的な混乱による不登校生の再登校時の学校適応と不適応の心理的分岐点を探る」）でもひきこもりは 3 年以上を経過すると社会参加率は著しく低下しているというデータが出ています。さらに昨年の横浜市教育委員会との共同調査「平成 15 年度に 30 日以上欠席した児童･生徒アンケート調査」においても情緒的には“低め安定”で“非活動的”という外に出にくいタイプの不登校生徒（中学生）が増加傾向にあるという結果も出てきています。

また、今や小学校や中学校は不登校であっても本人と親が望めば進級も卒業も問題なくできるケースが多く見られます。高校受験という壁もサポート校を筆頭に学力や内申を重視しない選抜方法を採る進路先も増え、子ども達の中にも“学校に行かなくては”“このままでは進路先が見つからない”という後ろめたさや危機感は薄らいできています。

これらのことはある意味でひきこもりの長期化を後押しすることになっているのではないでしょうか。

様変わりする子ども達をとりまく現状

私たち教育研究所は文部省（現文部科学省）が適応指導教室を作る際のモデル施設にもなったフリースクールの代表的な存在でした。これまで多くの不登校の子ども達が通い巣立っていきました。彼らは教研に通うことで少人数の同世代交流のスキルを学び、生活リズムの改

善、カウンセリングにより心の問題の整理、基礎体力･基礎学力の養成といった課題をクリアーしていく中で社会参加への力をつけていったのです。

ところがここ数年、前段でも触れたとおり子ども達の質の変化、社会状況の変化等から教室に通所してくる子どもの数は激減しています。それは不登校の子ども達にとって高校に行く、学習をするということへの関心の低下であり、既存の社会へ戻っていくということへの関心の低下とも考えられます。

しかし、子どもの抱える本質的な問題は何も変わっていません。現実の社会で自立して生活していくためには基礎学力、同世代人間関係力、様々な意味での社会性等、どうしてもこの時期に身につけなくてはならないことが山のようにあるのです。

海外キャンプという試み

子ども達の質の変化を私たちは子ども達の社会に対する価値観の変化と捉えました。今さら学力をつけて高校、大学と進学して苛酷な就職戦線に加わっていくという既存の社会ルートには興味も希望も持てないというのが彼らの本音ではないかと考えました。

そこで今までとはちょっと変わった企画として浮上してきたのが今回の韓国キャンプという試みでした。このキャンプは“日韓ひきこもり会議”をきっかけに交流を始めた韓国の精神科医グループとの共同研究として行われました。単なる海外旅行では意味がありません。韓国の人達との日常生活レベルでの交流をメインに音楽療法や太極拳体験など盛りだくさんのメニューでの４泊５日のキャンプとなりました。

日本を飛び出すことで気持ちが開放され異文化交流の中から外へ向かうエネルギーを得ることはできないものかと考えたのです。

海外であることの意味

体験合宿は現地のスタッフ（韓国人）の運営するプログラムに乗って行われました。言葉の壁は存在します。それでもトイレの場所、シャワーの使い方、食事の時間の確認、寝具の使い方など生活していく上での最低限のコミュニケーションは必要になります。普段人間関係の苦手な子ども達が必死にコミュニケーションを取ろうとする時、相手の表情を一生懸命読み取ろうとし始めます。分かり合えたとき笑顔が生まれます。うつむきがちだった彼らが変わり始めました。自分の気持ちや考えを片言の英語と身振り手振りで伝え合います。言葉の壁がエネルギーに変わっていく瞬間です。

一日のスケジュールが終わり、日本人だけの集まりになります。言葉の通じるありがたさからか会話が進みます。そこにこれまで同世代との間になかなか持つ事できなかった仲間意識が生まれます。

音楽療法・太極拳体験など韓国での生活

韓国ではソウルから車で 1 時間ほど北にあるひっそりとした田舎の保養所を借りての生活でした。食事は現地の方が家庭料理を用意してくださいました。ツアー旅行では味わうことのできない家庭の味を堪能することができました。

音楽療法では韓国の有名な太鼓の先生の実演を見せていただいた後、その先生の指導で韓国の民族音楽を体験しました。簡単なものですが民族衣装も身につけさせてもらい、それぞれタイプの違う太鼓を持って実際に演奏します。普段決して出すことの無いような大きな声を出している子ども達の姿がそこにありました。

ラテンの太鼓も体験しました。ハンディタイプの手鏡のような形の太鼓に自分の似顔絵を水生マーカーで描きそれぞれ独自のリズムで叩きあいます。

目と目で会話をしながら表情で気持ちを伝え合います。子どもも大人もありません。現地のスタッフもヨウ先生（韓国の精神科医）も牟田先生までも一つになって行く光景が目の前に広がりました。言葉はコミュニケーションの媒体としては決して絶対なものではなかったのです。子ども達はますます表情を取り戻していきます。今まで日本では感じられなかった“人とかかわることの尊さ”と出会った瞬間であったのかもしれません。

他にも映画にも出演している渋くとてもカッコいい太極拳先生との出会い…。日本語がとても上手でキャンプ生活の場所を提供してくれたハルモニ（キャンプ中韓国語でお母さん）のやさしさと温かさ…。一つ一つの出会いが常に新しい感動と勇気を与えてくれるそんな体験でした。

韓国キャンプを終えて

韓国キャンプを終えて帰国した後も子ども達は韓国で支えてくれたスタッフたちと今もメールでやり取りをしています。韓国語の勉強を始めた子どももいます。何かが変わり始めている気がします。

今後人間関係克服キャンプは韓国をはじめとして国内は富山の合宿所でも行っていく予定です。また、カナダへの短期・長期の留学プラン、タイへの語学研修プランなども行っていきます。

これからもひきこもった子ども達が外に出て行こうという意欲を持てるような工夫をたくさん用意していこうと思っております。興味のあるかたは是非お問い合わせ下さい。

次回韓国キャンプ開催は11月を予定しています。申し込み受付も行っています。

ソウル市郊外の保養所を借りきり、７日程度の共同生活を行う。ひきこもりやネット依存からの回復を目指す。グループワーク、カウンセリングの他、施設見学として、韓国映画産業、クリエィターを育成する大学、ネットゲーム製作会社などが入っている。このプログラムは韓国の精神科を中心にした医師グループとの共同企画。

日韓友好事業として調査・研究・治療を目的に行われる

☆カナダ体験合宿が延期開催になりました☆

※『NPO川越・人・街づくりプロジェクト』共催事業

8月27日(土)～9月3日(土)で予定していた

カナダ体験合宿ですが、スケジュールの都合で延期して開催することになりました。現在引き続き参加者募集です！

＜体験合宿プログラム＞

日　程　9 月中旬から下旬で調整中
（5 泊 7 日機中泊 1 日）

*プログラム内容
ＥＳＬ予備コース体験
ホームステイ体験
中高一貫校授業見学
ファームステイ（馬や牛の世話を通じたアニマルセラピー）
シーカヤック、トラッキングなどのアクティビ　ティ
カナダ原住民文化体験など

*参加費　20 万円～25 万円(現在調整中)

主催　NPO 法人 教育研究所
NPO 法人 川越・人・街づくりﾌﾟﾛﾀﾞｸｼｮﾝ
U-Link Management Inc.（バンクーバー）

協力　ラングレイ教育委員会、
メープルリッジ教育委員

カナダの留学プランは、現地の教育委員会の協力を得た形で現地の中学・高校・大学などに通う留学プランです。（別紙チラシ参照）

カナダ留学のためには、カナダの新学期の 9 月から学生生活を始めるために、1 月から語学学校に入学をします。現在、体験合宿と留学希望の生徒募集中です。

＜カナダ留学・体験合宿説明会のお知らせ＞

カナダ留学プラン・体験合宿に向けて、説明会を行います。気軽にご参加下さい。

日　時：　8 月 27 日(土)午後 1 時～３時
場　所：　教育研究所
参加費：　無料　　※連絡は教研まで

その他のアンビシャスプラン！

○富山県宇奈月温泉会場: 10 月初旬、1 月初旬、4 月初旬、7 月初旬、年 4 回、
一回 12 泊 13 日、費用 15 万円（交通費別）

教育研究所「宇奈月寮」又はフィール宇奈月ホテルを会場にして、様々な人間関係改善トレーニングを行う。カウンセリングを基本にし、運動療法・音楽療法・心理療法・レクリエーション療法などを行い。人間関係の改善を行うと同時に生理リズムの改善も行い。生活リズムの改善を行う。

（人間関係改善トレーニング合宿）

○タイ・バンコク市留学プラン

タイのバンコク市にある日・タイランゲージセンターの寮で生活し、タイ語日常会話のコース学び、異文化交流を行う。現地日本人スタッフが世話をする。メールカウンセリングによって、日本からカウンセラーが随時アドバイスも行う。本人の希望により寮、ホームスティでの生活をする。

	Mom	Tue	Wed	Thu	Fri
10:30~ 12:00	Free time (久玉)	英会話 (田村)	Room は自由学習 Staff は研修	Free time (田村)	※知識の泉
12:00~ 13:00	Lunch			Lunch	
13:00~ 15:00	※知識の泉	※知識の泉		Sport	英会話 (田村)
15:00~ 15:30	Meeting	Meeting		Meeting	Meeting

"Common Room" へようこそ！

※コモンルームには学校などの中にある、みんなの大切な居場所、安らぎの場という意味があります。

少人数ですが、毎日ワイワイ楽しく過ごしています。また、楽しく一緒に過ごす仲間を現在募集中です。

～コモンルームは知識の泉！～

◆ 知 識 の 泉 っ て ？ ◇

お勉強の枠をはみ出して、色々面白そうなことについて、掘り下げて探っていこうという時間です。この泉の時間に何をやるのかは、月ごとにお知らせします。　子ども達が興味の対象を広げ、実践的に役立てるような取り組みを考えています。9 月の講座でお勧めのものをご紹介します。

☆おもしろ理科・数学入門☆

ペットボトルで作ったロケットが空を飛ぶのを見たことがありますか？テレビなどでたまに発射しているところを見たことがある程度という人が多いのではないでしょうか？

前回はみんなを追いかけるという、迷走飛行を行った教研のロケット実験でしたが、今回はうまく行くことができるのでしょうか。さぁ、ロケットは空高く飛び立つことができるでしょうか？

日　　時：　９月１６日（金）
集　　合：　午前10時３０分から始めます。
午後に近くの公園で打ち上げです。
※参加費は特にありません。

☆国際理解講座☆

文化が違うと、色んなものが違います。ケニア出身の知人に「日本ではお箸を使って食べるよ」と話したら、「日本人はそんなに手が汚いのか！」と驚かれたことがあります。

いつも見ている世界や、普通だと思っていることが、実は日本だけでしか通用しないことだったり、すごく他の国では変なことだったりするのかもしれません。例えば、家に入る前に靴を脱いだりする、こんな当たり前のことが、世界的にとっても変わっていたりする。

他の国の人たちのことを知ることは、自分を、自分の国のことを知ることなのかもしれません。

＜ Common Room Time Schedule ＞

Common Room 開設時間：平日午前１０時３０分から午後３時３０分まで（※学校のお休みの時はお休み。）

講座ごとの参加もできます。お問い合わせ下さい。

＜9月の知識の泉・予定表＞

５(月)	映画を見て語る会(新学期スタート)
６(火)	歴史がわかる！世界が見える！
９(金)	おもしろ理科・数学入門
１２(月)	国際理解講座
１３(火)	歴史がわかる！世界が見える！
１６(金)	おもしろ理科・数学入門　（一日）（ペットボトルロケット発射実験）
２０(火)	歴史がわかる！世界が見える！
２６(月)	歴史がわかる！世界が見える！
２７(火)	ぐるめ会
３０(金)	おもしろ理科・数学入門

『教育講演』実況中継(連載第４回)

不登校、ひきこもりの子ども、家族への援助

（ 天理市第４６回心を育てる教職員の集い講演）

講師：牟田　武生

は今回はお休みです。次号掲載予定です。

☆お母さんたちの交流会のお知らせ☆

「毎月 5～6 人が集まって、お茶を飲みながらおしゃべりに花を咲かせています。共通する悩みを持つもの同士、気軽な気持ちで、息抜きにでも参加して頂ければいいなと思っています。

・同時に親の会ミニ図書館を開催。
・会員の方ならどなたでも利用可。
・不登校やひきこもりに関する本や心理の本などが300 冊以上あります。

ぜひご利用下さい。予約の必要はありません。」（卒業生の母より）

開催日　：　９/２４（土）ｐｍ1：００～

アクセスしてくださ

☆教育新聞社Ｗｅｂ新聞☆

“わが子の悩みドットコム”

〇牟田先生の連載「インターネットと若者の心理」「教育・子どもの２５年史」、
〇池島徳大先生 奈良教育大学教育実践総合センター助教授「子どもの心を開くこんな一言」、
〇金子　保先生　さいたま市教育相談センター所長「おばあちゃんの知恵袋」
〇上地安昭先生　兵庫教育大学教授「学校安全と危機教育」
など第一線で活躍する先生方の連載も必見！
http://www.konayami.com/index.html

◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

神奈川県ﾌﾘｰｽｸｰﾙ等事業費補助金で開催決定！

☆閉鎖型グループカウンセリングのお知らせ☆

“小･中･高校生の不登校を抱える親のための”
西村グループカウンセリング

第１回：8月11日、9月8日、22日（木曜日）（全3回）
午後３時半から５時半まで

第２回：9月30日、10月14日、28日(金曜日)（全3回）
午後5時半から7時半まで

第３回：11月5日、19日、12月10日（土曜日）（

全3回）

午前10時半から12時まで

第４回：2月10日、24日、3月10日（金曜日）（全3回）

午後5時半から7時半まで

参加料：3000円　（各回共通）

“ネット依存型ひきこもりの子どもを抱える親のため”牟田グループカウンセリング

9月10日、10月8日、11月5日、12月10日、1月21日、2月18日、3月11日　土曜日の午後1時～3時まで

(全7回)参加料：12000円

詳しくは、同封のチラシでお知らせします。教研にお問い合わせ下さい。

“電話進路相談”

相談対象　：　不登校・ひきこもりの子どもを持つ親・保護者・本人

相談種類　：　進路電話相談

受付時間　：　月～金、9：00～12：00、17：00～18：00　（7/20～9/2、12/27～1/6は休み）

電話番号　：　０４５－８４８－３７６５（相談専用）

その他　　：　※相談受付は3/17まで

教師＆専門家のための不登校問題研修会ボランティアのお願い

〇8月東京会場研修会での会場係、受付

今年も代々木にある国立オリンピック記念青少年総合センターで不登校問題研修会を開催します。

研修会は基本的にスタッフも含めボランティアで運営されています。今年も、ボランティアとしてご協力頂ければと思います。

当日は受付、会場係のほか、場合によってはお荷物を預かるクロークが必要になったりするかもしれません。様々な形でのお手伝いが必要になります。

ボランティアの方は、当日講義の最中は仕事があまりないので、講義を聴いていただけると思います。(もちろん無料です。)

東京の会場で集合が朝 8 時 30 分、解散が午後 5 時ごろです。一日だけの参加でも助かります。よろしくお願い致します。

また、交通費実費・昼食はこちらでご用意させていただきます。

ご参加いただける方は、ＮＰＯ法人教育研究所不登校問題研究会事務局　田村まで。

℡：045-848-3761・FAX：045-848-3742

E-mail:contact@kyoken.org

☆無料メールマガジン☆『不登校･ひきこもり･ニート教育を考えるＮＰＯ教研情報』の配信を始めます！

ＮＰＯ教育研究所「メールマガジン」配信にあたり

不登校、ひきこもり、ネット依存、ニートなどの青少年や若者達の行動は、現代社会を根底から揺るがすような問題に発展してきた。

少子化社会が進む中、これらの問題が解決できなければ、日本社会そのものが危うくなる危険性も含んでいる。

このメルマガは悩んでいる本人や家族だけでなく、相談者、教師、専門家、児童館職員、若者自立塾関係者などのこれらの問題に関わる人、全てに向け、双方向性の特性を使い情報を配信していく。

臨床の生の声、研究者の声は、この問題を抱える全ての人に解決の糸口を提供し、勇気を与えてくれることになるだろう。

2005、夏

NPO法人　教育研究所　理事長　牟田武生

登録は教研のホームページ http://kyoken.org から。

多くの方の登録をお待ちしています。

8月11日(木)	山梨県養護教員研究会研修
8月11日(木)	西村グループカウンセリング
8月22日(月) ～26日(金)	**不登校問題研修会(東京会場)**
8月27日(土) 28日(日)	神奈川県ボランティア体験
9月 ３日(土)	神奈川県立青少年センター フリマ(若者自立塾説明会)
9月 8日(木)	西村グループカウンセリング
9月10日(土)	牟田グループカウンセリング 若者自立塾ｸﾞﾙｰﾌﾟカウンセリング
9月17日(土)	西村グループカウンセリング 教研講演会 若者自立塾個別相談会
9月22日(木)	西村グループカウンセリング
9月24日(土)	ミニ図書の会

☆教研への寄付のお願い☆

NPO 教育研究所は会費、寄付、様々な事業からある収益などにより、活動を行っています。しかし、現在、子どもたちとの関わりの中から収入を上げていくのが難しい現状があり、その他の事業での収益を子どもたちの支援活動に充てているという現実があります。

現体制を維持し、支援活動を継続的に行っていくためにもご協力よろしくお願い致します。

寄付口座: 横浜銀行　上永谷支店(普)１４４２８２２

「特定非営利活動法人　教育研究所(寄付)」

☆教研サポーター募集☆

教研では活動を NPO 法人会員となり、支持支援するサポーターとなってくださる方を募集しています。多くの方に教研の活動を知り、賛同頂く形で会員になって支援していただければと思っています。

◎会　　費　年会費 5000 円

会費納入口座は　横浜銀行　　上永谷支店（３